

# 地域情報プラットフォームの実現 に向けた活動状況について



情報通信政策局  
地域通信振興課  
地方情報化推進室

## 《 目 次 》

- 1 地域情報プラットフォーム
- 2 実現に向けた取組
- 3 研究開発
- 4 標準化
- 5 実証実験

# 地方公共団体における情報システムの標準化について

## 地方公共団体における情報システムの現状と課題

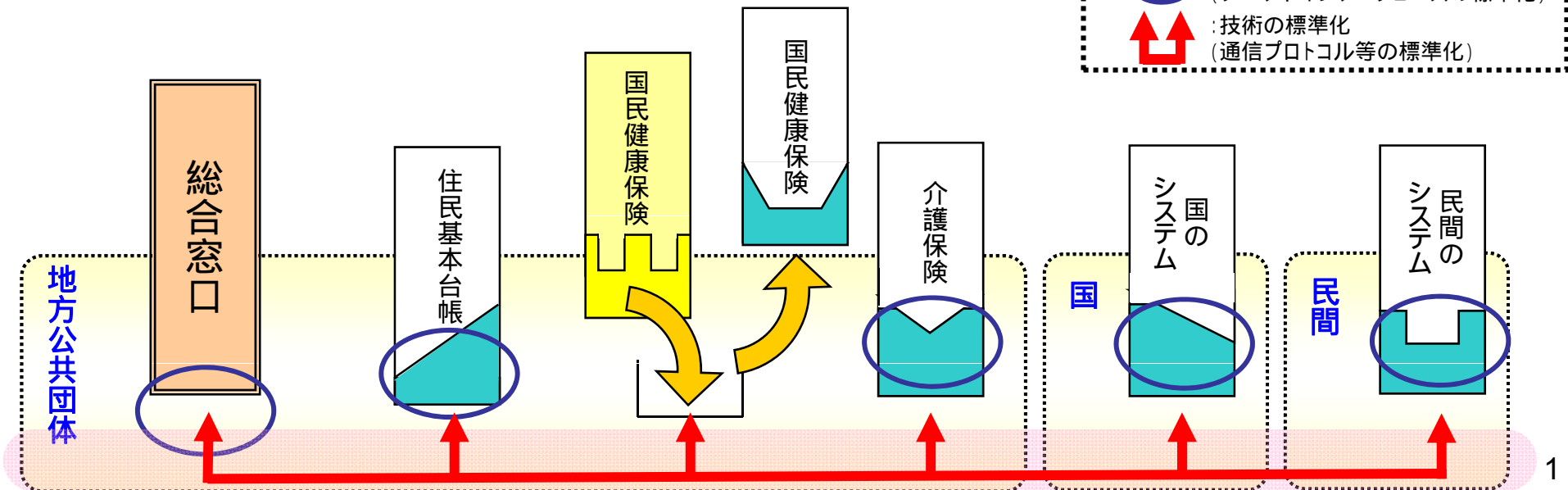
特定ベンダによる囲い込み(ベンダロックイン)により、経費の高止まりが起こるとともに、自治体ごとの独自仕様による様々なカスタマイズにより、民間等の外部との間だけでなく地方公共団体内のシステムとも連携が困難になっている。

標準化(共通ルール)が必要

## 地域情報プラットフォームとは

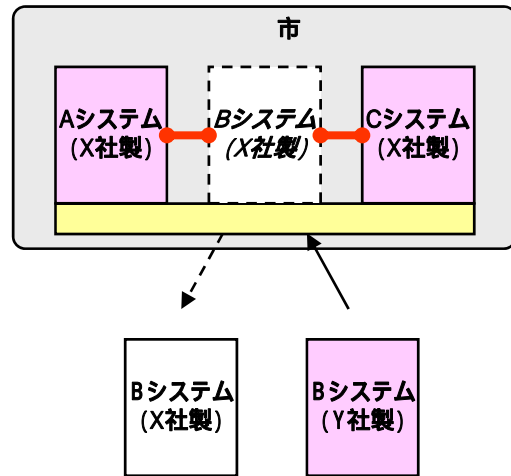
地方公共団体や国・民間等外部の情報システムとの間で、相互に接続・連携できるよう、地方公共団体の各システムが予め準拠すべき業務的・技術的な標準(ルール)を定めたもの。国や民間はこれを参照することにより、地方公共団体とのシステム等連携が可能。

○ : 業務の標準化  
(データやインターフェースの標準化)  
↑↑ : 技術の標準化  
(通信プロトコル等の標準化)



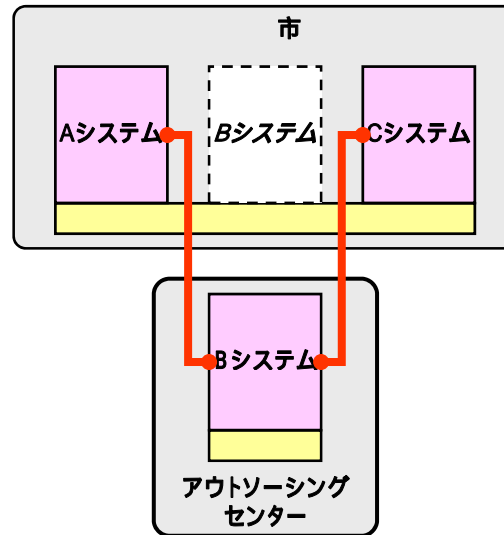
# 地域情報プラットフォームに期待される効果イメージ

## カセット化 (マルチベンダ化)



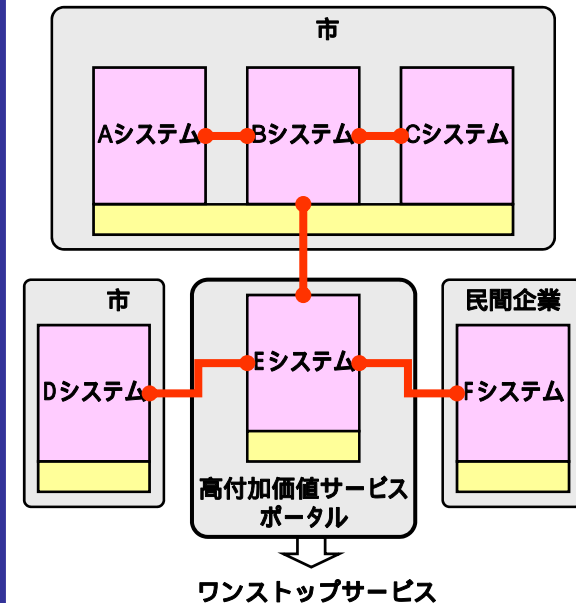
標準化により、システムの調達が多ベンダ化し、競争環境を確保（ベンダロックインの回避）。  
この結果、コストの高止まりの軽減が可能。

## アウトソーシング



地域情報プラットフォームに準拠することにより、アウトソーシングを利用することで幅広くシステムを調達することが可能。  
さらに、共同化することにより、とりわけ小規模地方公共団体の調達コスト削減に寄与。

## サービス連携



官民連携ワンストップサービスなど、より便利なサービスの連携が可能。

# 地域情報プラットフォームに期待される効果

地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠することにより、  
様々な公共情報システムの連携が可能

## 住民利便性の向上

- 出生・引越し等のライフイベントの際に利用する**多岐に渡る複数の機関・地域のサービスを統合的に利用**することが可能。

## 行政事務の効率化

- 標準に準拠したシステムなら、どのベンダでも自由に組み合わせて利用可能となる。また特定ベンダに依存しない**マルチベンダ化による適切な競争環境が実現し、ICT経費の削減**が可能。
- データの重複入力・管理や紙への出力といった**非効率な作業が不要**。

## 地域の活性化

- よりオープンかつ小さな単位での調達が可能となることから、**地域ベンダの参入機会が拡大**。
- 地域の様々なサービスが連携されることにより、**新しい地域の価値を創造**することが可能となり、地域の居住者・滞在者の増加、地域の産業の発展が可能。

## 地域情報化の推進

- 標準に準拠したシステムが、どの地域でも移植可能となることから、**当該システムの普及が加速化**し、地域情報化が進展
- 標準に準拠したシステム間の地域を超えた連携が可能となり、**地域間の多様な連携**により地域情報化が進展

# 実現に向けた取組

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度～
研究開発	要素技術の確立			
標準化	標準仕様の策定			標準仕様の策定
実証実験				地域情報プラットフォーム 推進事業

## 要素技術の確立

異なる運用ポリシーや異なるアーキテクチャのサービスが連携し、高付加価値サービスを提供できるための**サービス連携基盤技術の研究開発**。

### デザインパターン技術

複数サイトが連携・統合して提供するサービスを容易に構築可能とするための典型的なデザインパターン(設計ひな型)を作成する技術。



この技術により、サービスを連携させる際、設計段階での**開発工数が削減**され、新規サービスの**開発効率の向上**が実現可能。

### 認証連携基盤技術

複数サイトが連携・統合して提供するサービスにおいて、サービス間での認証情報を連携する際、名寄せの防止を可能とする技術。



この技術により、利用者の**1回の認証で名寄せを防止した複数サイトのサービス利用**が実現可能。

### システム統合監視技術

複数サイトが連携・統合して提供するサービスにおいて、サービスの進捗状況、システムリソースの運用状況を表示し、分析し、リコメンド情報を生成する技術。



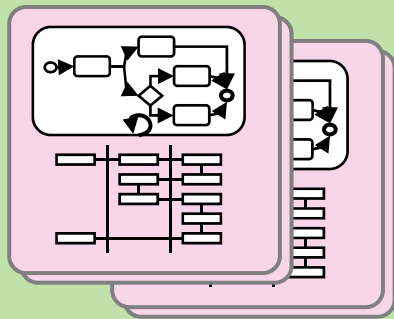
この技術により、**サービスの遅延やリソースの障害の発見**が実現可能。

# 要素技術の確立

## デザインパターン技術

この技術により、サービスを連携させる際、設計段階の**開発工数が削減**され、新規サービスの開発効率の向上が実現可能。

### 連携サービスの設計

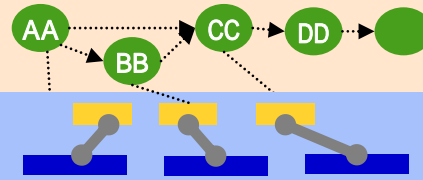


設計文書

サービスフロー、  
インターフェース  
定義生成

### 定義作成

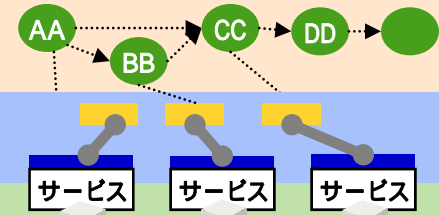
#### ビジネスプロセス定義



サービスの  
インターフェース定義

定義検証

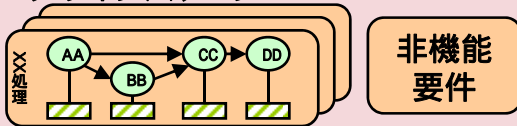
### 動作検証



検証用シミュレータ

各分野特有の連携パターンや非機能要件について記述する、デザインパターン言語の技法

#### デザインパターン



非機能要件

ビジネスプロセスを定義するBPEL、サービスのインターフェースを定義するWSDLを自動生成する技術

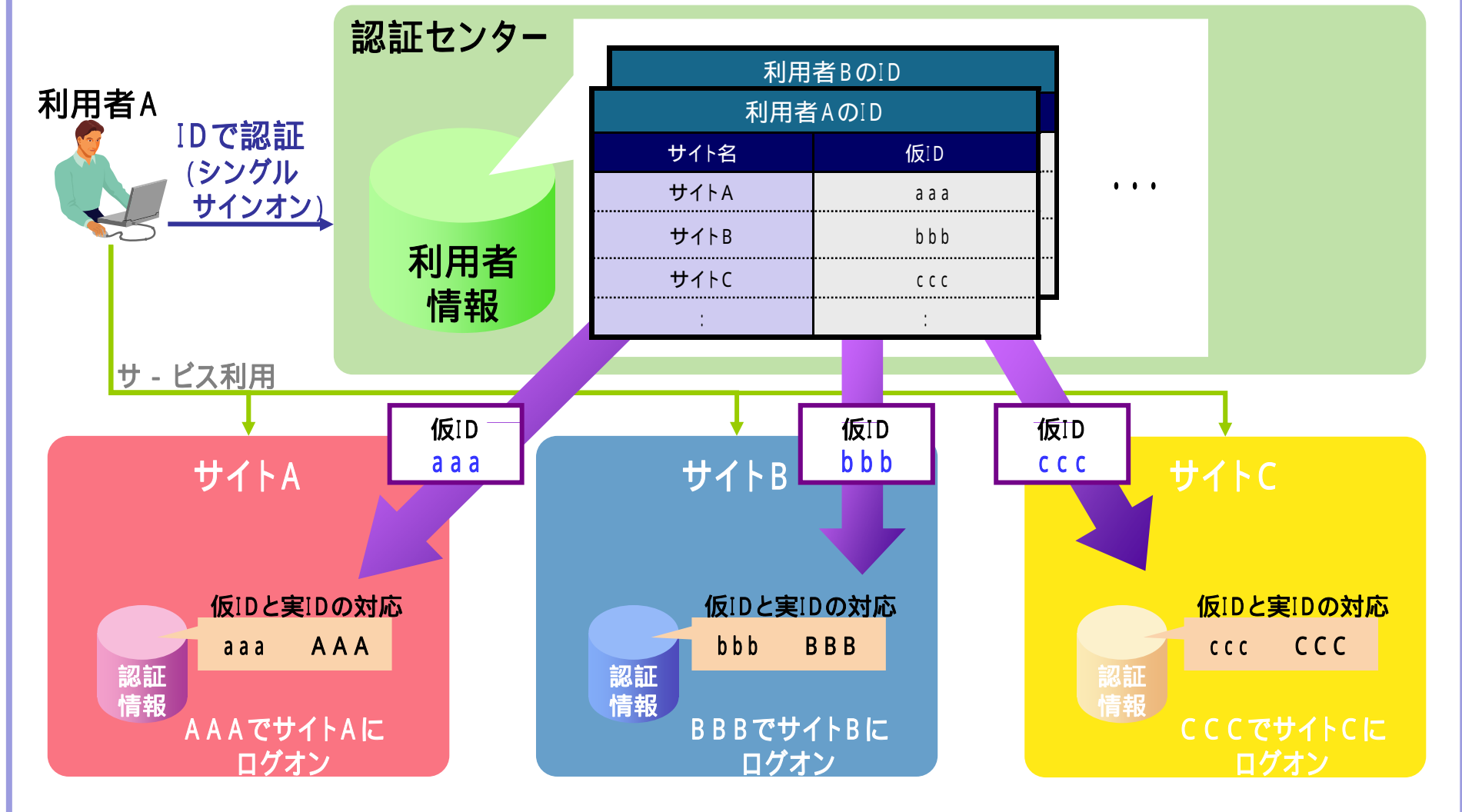
動作検証に必要なとなるサービスシミュレータを自動生成する技術



# 要素技術の確立

## 認証連携基盤技術

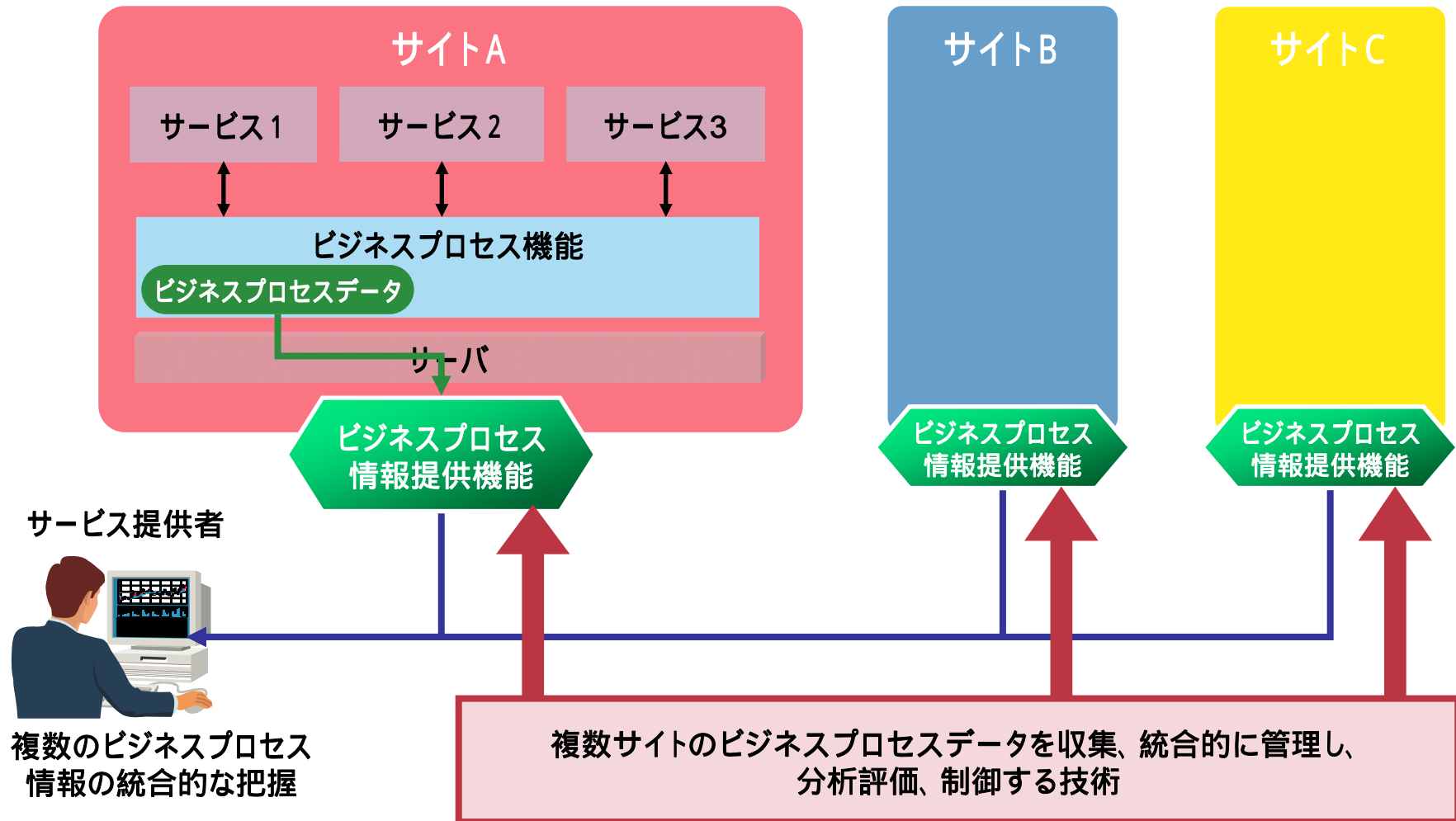
この技術により、利用者の1回の認証で名寄せを防止した複数サイトのサービス利用が実現可能。



# 要素技術の確立

システム統合監視技術

この技術により、サービスの遅延やリソース障害の発見が実現可能。



サービス提供者

複数のビジネスプロセス情報の統合的な把握

複数サイトのビジネスプロセスデータを収集、統合的に管理し、分析評価、制御する技術

# 標準仕様の策定

## 標準仕様

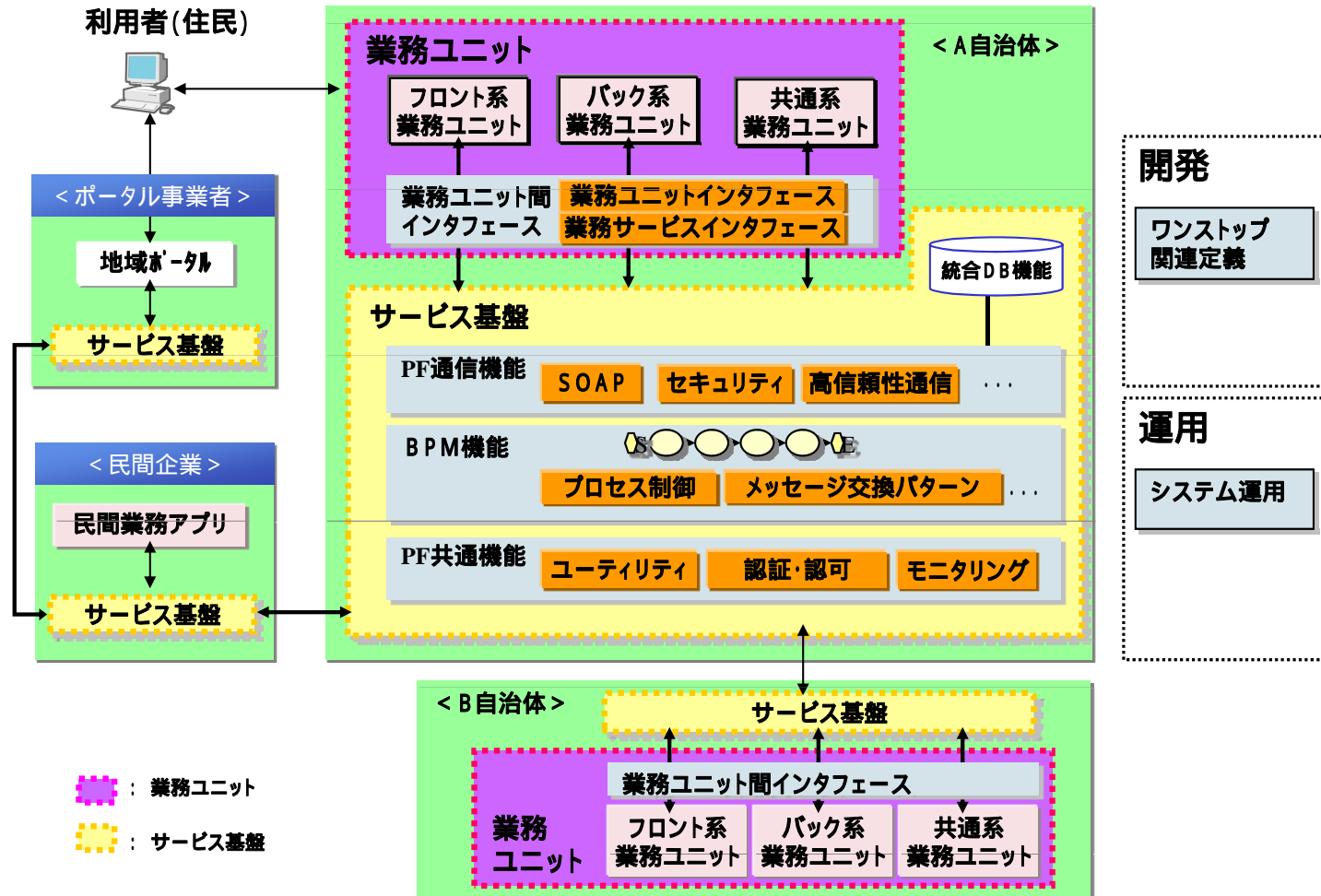
アーキテクチャ標準仕様 【技術標準仕様】	全体構成・要素及びその要素の機能・基本要件に関する標準仕様	平成18年度	平成19年度
プラットフォーム通信標準仕様 【技術標準仕様】	通信手順・方式（プロトコル）に関する標準仕様	平成18年度	平成19年度
自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 【業務標準仕様】	業務ユニットの構成単位、データ、及びインターフェースに関する標準仕様	平成18年度	平成19年度
GIS共通サービス仕様 【業務標準仕様】 【技術標準仕様】	GIS（地理情報システム）共通サービスの全体構成及び要件に関する標準仕様		平成19年度
地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続確認仕様 【業務標準仕様】 【技術標準仕様】	業務標準仕様・技術標準仕様への準拠の確認及び準拠製品の相互接続の確認に関する標準仕様		平成19年度
地域情報プラットフォームガイドライン 【指針】	地域情報プラットフォームを導入する自治体向けに参考となる調達・構築に関する指針をまとめたもの		平成19年度

## 基本説明書・運用規則

地域情報プラットフォーム基本説明書 【基本説明書】	調達者・開発者・インテグレータ向けに、地域情報プラットフォームの目的・効果等基本的事項に関する説明書	平成17年度	平成18年度	平成19年度
地域情報プラットフォーム標準仕様運用規則 【運用規則】	標準仕様の策定・変更・破棄、文書策定規則、情報公開基準及び知的財産権方針に関する運用規則	平成17年度	平成18年度	平成19年度

# 標準仕様の策定

アーキテクチャ標準仕様  
【技術標準仕様】



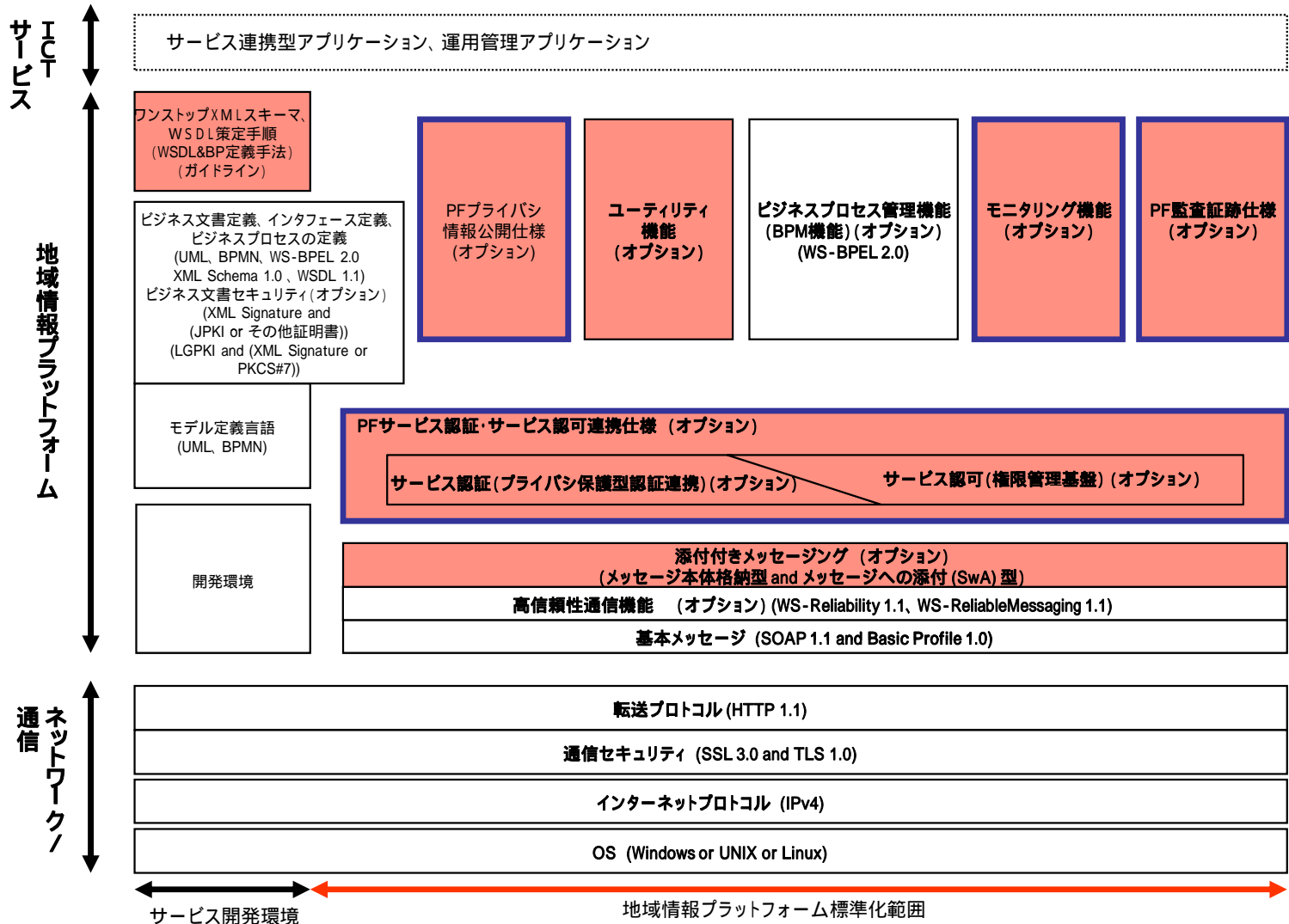
# 標準仕様の策定

## プラットフォーム通信標準仕様 【技術標準仕様】

「自治体内」・「サイト間」で活用する機能

「サイト間」で活用する機能

V 2.0 で追加した機能



# 標準仕様の策定

## 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 【業務標準仕様】

### 「2.6」の業務ユニットの機能概要説明

### 機能一覧

業務ユニット番号	業務ユニット名	概要
1	住民基本台帳	住民の転入・転出・転居・出生・死亡等の異動、照会や証明書の発行・通知書の出力等を行う。
2	印鑑登録	印鑑の登録・廃止・印鑑証明の発行等を行う。
3	外国人登録	外国人登録の増・減処理、登録証の発行、登録証調製依頼等の処理を行う。
4	選挙人名簿管理	選挙人名簿の管理、入場券発行、不在者投票、住民投票の管理等を行う。検察審査会、農業・海区・漁業委員会選挙人名簿作成を行う。
5	固定資産税	固定資産税課税台帳(土地・家屋・償却資産)の評価・賦課・証明書発行・統計処理等を行う。
6	個人住民税	個人住民税の課税対象管理・資料の管理・賦課・統計処理等を行う。
7	法人住民税	法人台帳の管理・賦課台帳管理等を行う。
8	軽自動車税	車輛台帳の管理・賦課・証明書発行等の処理を行う。
9	収納管理	個人住民税、法人住民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険料(料)の収納情報・滞納整理情報の管理、消込・滞納整理・過誤納の処理、統計出力等を行う。
10	国民健康保険	資格の管理・保険証の発行、所得資産の管理・保険料(料)の賦課、レセプトのチェック・管理、療養費等の給付、統計処理等を行う。
11	国民年金	国民年金資格の管理・付加・免除・給付の管理を行う。
12	障害者福祉	対象者の資格管理、進達処理、通知書発行、支払管理、統計処理等を行う。
13	後期高齢者福祉 (*1)	対象者の資格管理、通知書・証発行、収納・支払管理、統計処理等を行う。
14	介護保険	介護保険被保険者の資格管理・介護保険料の賦課・介護保険料の収納管理・受給者の台帳管理を行う。
15	児童手当	対象者の資格管理、現況受付、支払管理、統計処理等を行う。(児童福祉の一部)
16	生活保護	生活相談受付、保護申請審査、支給管理、統計処理等を行う。
17	乳幼児医療 (*1)	対象者の資格管理、医療証の発行、現金給付、統計処理等を行う。
18	ひとり親医療 (*1)	対象者の資格管理、医療証の発行、現金給付、統計処理等を行う。
19	健康管理 (*1)	基本健診、成人検診・母子健診・予防接種情報の管理、保健指導、統計報告資料作成、データ分析、委託料・報償金管理を行う。
2.0	就学	学齢簿の出力、小学校・中学校の就学通知の発行等を行う。
2.1	戸籍	本籍人の出生・死亡・婚姻・離婚・養子縁組・養子縁離などの異動、照会、証明書発行、および通知書出力等を行う。また附票管理を行う。
3.0	住登外管理	住登外者・法人情報の管理を行う。
5.0	財務会計	予算編成・予算管理・歳入管理・歳出管理・歳計外現金・出納管理・決算管理等の処理を行う。
5.1	庶務事務	勤怠管理、各種手当申請・その他各種申請・照会 / 配布・福利厚生管理・年末調整管理・正規職員以外管理等の処理を行う。
5.2	人事給与	申請受付・計算・年末調整・支払・人事・福利厚生・研修等の処理を行う。
5.3	文書管理	公文書の收受・起案・承認 / 決裁・施行・保管・検索 / 照会・ファイル管理・情報公開等の処理を行う。

機能一覧		業務名
		住民基本台帳
機能(レベル0.1)	機能(レベル0.2)	機能説明
1.1.異動(増加)	1.1.1.転入	住民の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。
	1.1.2.戸籍届出による異動(増加)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。(出生、国籍取得、帰化)
1.2.異動(減少)	1.2.1.転出	住民の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。
	1.2.2.戸籍届出による異動(減少)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。(死亡、失踪宣告、国籍喪失)
1.3.異動(変更)	1.3.1.転居	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の住所要件(住所や世帯構成員、続柄)を変更する。
	1.3.2.世帯変更	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報を変更する。(世帯合併、分離、世帯主変更、世帯変更)
	1.3.3.戸籍届出による異動(増減なし)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の戸籍要件(氏名、本籍、筆頭者、続柄)を変更する。(氏名変更、婚姻、離婚、転籍、戸籍訂正等)
	1.3.4.住民票記載事項の変更	職種により、住民基本台帳の世帯情報、個人情報を変更する。(住居表示、通知により)
	1.3.5.その他変更	外国人登録により、住民基本台帳の個人情報を追加、変更する。
1.4.照会	1.4.1.住民票情報照会	世帯情報、個人情報に登録された情報を表示する。
	1.4.2.住基カード発行状況照会	住民基本台帳カードの発行状況を表示する。
1.5.発行	1.5.1.証明書交付	住民の申請に基づき、証明書(住民票、住民票記載事項証明書等)を出力する。
	1.5.2.通知発行	他市区町村、住民へ各種通知(転入通知、附票記載事項通知、住民票コード通知等)を送付する。
1.6.統計・報告	1.6.1.統計・報告(都道府県、関係機関)	都道府県に対し、各種統計情報(転入・転出者数表等)を送付する。
	1.6.2.統計・報告(統計部門)	他部署(統計部門)に対して、各種統計情報(年齢別統計、人口ピラミッド等)を送付(開示)する。
1.7.閲覧	1.7.1.住民閲覧	住民に対し、世帯情報、個人情報を閲覧する。

(\*1)平成20年度に策定予定。



# 標準仕様の策定

## 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 【業務標準仕様】

項目セット辞書							版	作成日
								2007/03/20
項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数	サンプル値	項目の説明
1	日付情報	年		X	4	1	2007	西暦年
		月		X	2	1	11	
		日		X	2	1	23	
2	氏名情報	氏名		N	100	1	総務 太郎	姓と名の間に全角の空白を一文子入れる。
		フリガナ		N	100	1	ソウム タロウ	姓と名の間に全角の空白を一文子入れる。
3	住所情報	町字コード		X	11	1		LASDEC全国町字コード
		都道府県		N	40	1		
		市区町村		N	40	1		
		行政区		N	40	1		
		町名等		N	40	1		
		方番		N	150	1		
		郵便番号		X	10	1		
4	続柄情報	続柄1		X	2	1	続柄	
		続柄2		X	2	1	続柄	
		続柄3		X	2	1	続柄	
		続柄4		X	2	1	続柄	
5	金融機関情報	金融機関コード		X	4	1	1234	〔全銀協〕統一金融機関コード
		支店コード		X	3	1	123	〔全銀協〕統一店番号
		口座種別		X	1	1	1	〔全銀協〕預金種目
		口座番号		X	8	1	01234567	右詰め残り前0。
		口座名義人名		N	40	1	総務 太郎	左詰め残リスペース
6	所在地情報	大字		X	5	1		
		小字		X	5	1		
		地番		X	25	1		
7	年月情報	年		X	4	1	2007	西暦年
		月		X	2	1	11	
8	電話番号情報	電話番号		X	20	1		
9	歳入科目情報	会計		X	2	1	01	科目情報の項目はサンプル、導入団体に合わせ調整が必要。
		予算区分		X	1	1	0	
		款		X	2	1	01	
		項		X	2	1	01	
		目		X	2	1	01	
		節		X	2	1	01	
		細節		X	2	1	01	
		細々節		X	3	1	001	
		空白		X	14	1		
		合計		X	2	1	01	
10	歳出科目情報	会計		X	2	1	01	科目情報の項目はサンプル、導入団体に合わせ調整が必要。
		予算区分		X	1	1	0	
		款		X	2	1	01	
		項		X	2	1	01	
		目		X	2	1	01	
		節		X	3	1	001	
		小事業		X	3	1	001	
		中事業		X	3	1	001	
		大事業		X	3	1	001	
		節		X	2	1	01	
11	時刻情報	時間		X	2	1	12	24時間
		分		X	2	1	00	
12	時間情報	時間		S9	2	1	12	24時間
		分		S9	2	1	00	
13	所属情報	所属コード		X	12	1	010203040506	
		所属名		N	30	1		
		部名称		N	30	1		
		室名称		N	30	1		
		課名称		N	30	1		
		係名称		N	30	1		
		特設区分		N	30	1		
出生区分		N	30	1				
任命権者区分		N	30	1				

### 項目セット辞書

→ 各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目の型を定義した辞書

コード辞書(共通)					版	作成日
						2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
1	有無コード	X	1	0	無	
コード辞書(個人住民税)					版	作成日
						2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
1	本人該当区分	X	1	0	1 老年者控除 2 障害/生1、特別養護	
コード辞書(住民基本台帳)					版	作成日
						2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
1	続柄	X	2	-	別表1参照	
2	住所区分	X	1	1	転出予定	
				2	転出確定	
3	国保資格区分	X	1	3	学	
				4	遠	
				6	住	
				7	所	
4	退職該当非該当区分	X	1	0	非該当	
				1	該当	
5	退職扶養区分	X	1	1	本人	
				2	扶養	
6	住民基本台帳異動事由	X	2	01	転入	
				02	転入(同一市町村内)	
				03	転居	
				04	転出	
				05	世帯主変更	
				06	世帯合併	
				07	世帯変更	
				08	世帯分離	
				09	出生	
				10	死亡	
11	職権記載					
12	職権消除					
13	職権修正					
14	職権回復					
15	転出取消					
16	帰化					
17	国籍取得					
18	国籍喪失					
99	訂正					

### コード辞書

→ 各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目のコードを定義した辞書



# 標準仕様の策定

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様  
【業務標準仕様】

《業務ユニット「住民基本台帳」のデータ標準化（一部）》

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema
  targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:tns="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation/>
  </xsd:annotation>
  <xsd:include schemaLocation="http://www.applic.or.jp/APPLIC/XSD/1.0/lgxml00-0100.xsd"/>
  <xsd:complexType name="住基情報">
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="識別番号">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="15"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="世帯番号">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="15"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="住民種別">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="1"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="住民状態">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="1"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="住民票コード" minOccurs="0">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="11"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:schema>
```

右欄へ

業務ユニットが持つデータ項目  
を定めたプログラム

```
</xsd:element>
<xsd:element name="氏名" type="tns:氏名情報"/>
<xsd:element name="性別">
  <xsd:simpleType>
    <xsd:restriction base="xsd:string">
      <xsd:maxLength value="1"/>
    </xsd:restriction>
  </xsd:simpleType>
</xsd:element>
<xsd:element name="生年月日" type="tns:生年月日情報"/>
<xsd:element name="続柄" type="tns:続柄情報"/>
<xsd:element name="住民となった情報">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="異動年月日" type="tns:日付情報"/>
      <xsd:element name="届出年月日" type="tns:日付情報"/>
      <xsd:element name="増異動事由">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="2"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="戸籍情報" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="本籍地" type="tns:住所情報" minOccurs="0"/>
      <xsd:element name="筆頭者" type="tns:氏名情報" minOccurs="0"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="住民でなくなった情報">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="異動年月日" type="tns:日付情報"/>
      <xsd:element name="届出年月日" type="tns:日付情報"/>
      <xsd:element name="減異動事由">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            .....
            .....
            .....
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

# 標準仕様の策定

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様  
【業務標準仕様】

《業務ユニット「住民基本台帳」のデータ標準化（一部）》

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<definitions
  targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmlns:wSDL:2007-01"
  xmlns:boss1-xsd="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01"
  xmlns:boss1-wsdl="urn:applic.or.jp:xmlns:wSDL:2007-01"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/">
  <documentation>
    本文書は「住民基本台帳ユニット」に関するWSDL定義である。
    管理主体: APPLIC
    対象文書名: lgxml01s-0100.wsdl
    バージョン: V1.0 作成日: 2007/04/01
  </documentation>
  <types>
    <xsd:schema targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01">
      <xsd:include
        schemaLocation="http://www.appl.or.jp/APPLIC/XSD/1.0/100-01s-0100.xsd"
        xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" />
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="住民情報_問合せ">
    <part name="住民情報_問合せメッセージ" element="boss1-xsd:個人情報メッセージ" />
  </message>
  <message name="住民情報_検索結果">
    <part name="住民情報_検索結果メッセージ" element="boss1-xsd:個人情報メッセージ" />
  </message>
  <message name="世帯情報_問合せ">
    <part name="世帯情報_問合せメッセージ" element="boss1-xsd:世帯番号メッセージ" />
  </message>
  <message name="世帯情報_検索結果">
    <part name="世帯情報_検索結果メッセージ" element="boss1-xsd:世帯情報メッセージ" />
  </message>
  <portType name="住民基本台帳">
    <operation name="住民基本台帳_住民情報">
      <input name="住民情報_問合せメッセージ" message="boss1-wsdl:住民情報_問合せ" />
      <output name="住民情報_検索結果メッセージ" message="boss1-wsdl:住民情報_検索結果" />
    </operation>
    <operation name="住民基本台帳_世帯情報">
      <input name="世帯情報_問合せメッセージ" message="boss1-wsdl:世帯情報_問合せ" />
      <output name="世帯情報_検索結果メッセージ" message="boss1-wsdl:世帯情報_検索結果" />
    </operation>
  </portType>
</definitions>
```

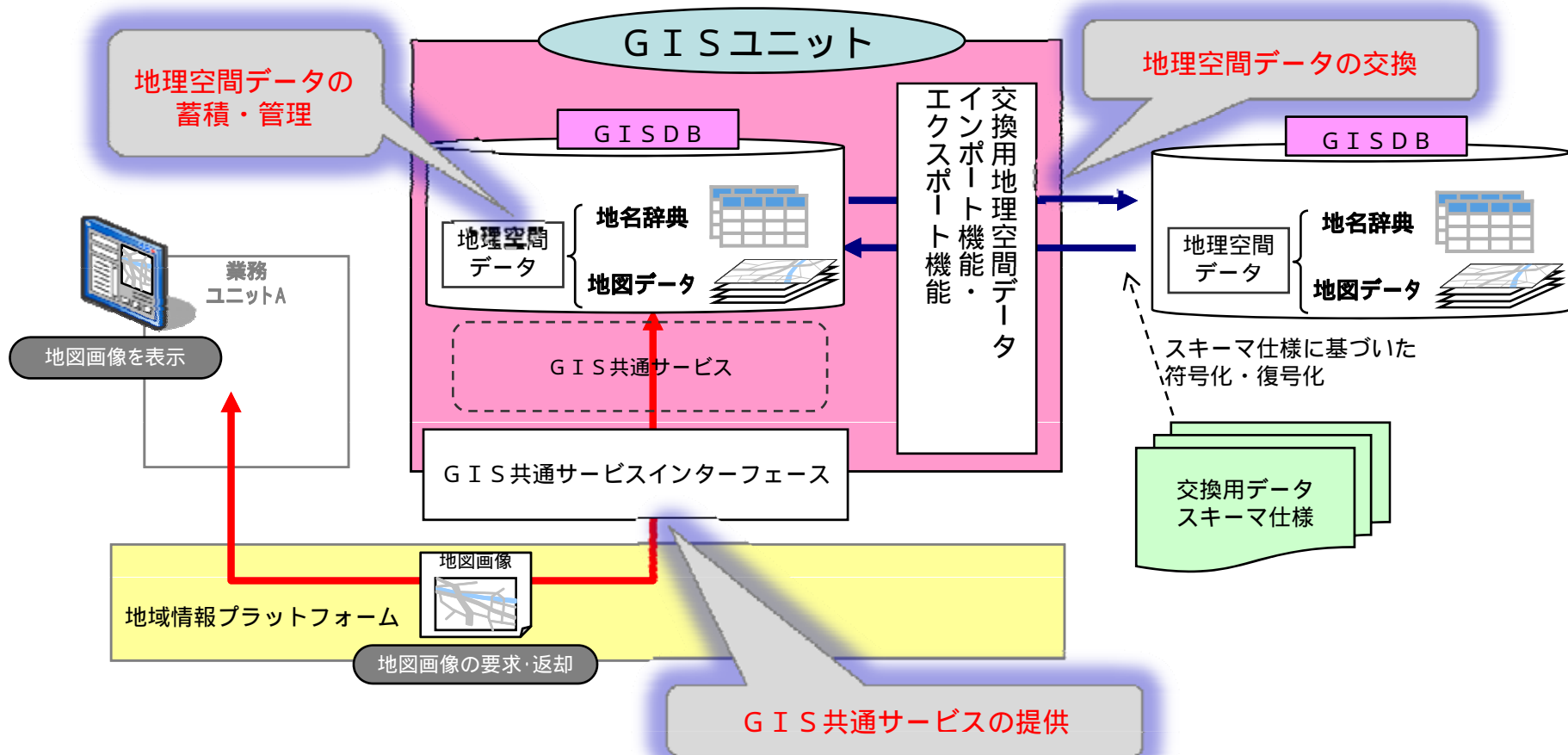
他の業務ユニットからの処理依頼(入力)に対してどのような処理結果(出力)を返すのか(処理手順)を定めたプログラム

```
</portType>
<binding name="住民基本台帳SOAPBinding" type="boss1-wsdl:住民基本台帳">
  <wsdlsoap:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" />
</binding>
<operation name="住民基本台帳_住民情報">
  <wsdlsoap:operation style="document" soapAction="boss1_1-2007-01_1" />
  <input name="住民情報_問合せメッセージ">
    <wsdlsoap:body use="literal" />
  </input>
  <output name="住民情報_検索結果メッセージ">
    <wsdlsoap:body use="literal" />
  </output>
</operation>
<operation name="住民基本台帳">
  <wsdlsoap:operation style="document" soapAction="boss1_1-2007-01_2" />
  <input name="世帯情報_問合せメッセージ">
    <wsdlsoap:body use="literal" />
  </input>
  <output name="世帯情報_検索結果メッセージ">
    <wsdlsoap:body use="literal" />
  </output>
</operation>
</portType>
</service>
</definitions>
```

右欄へ

# 標準仕様の策定

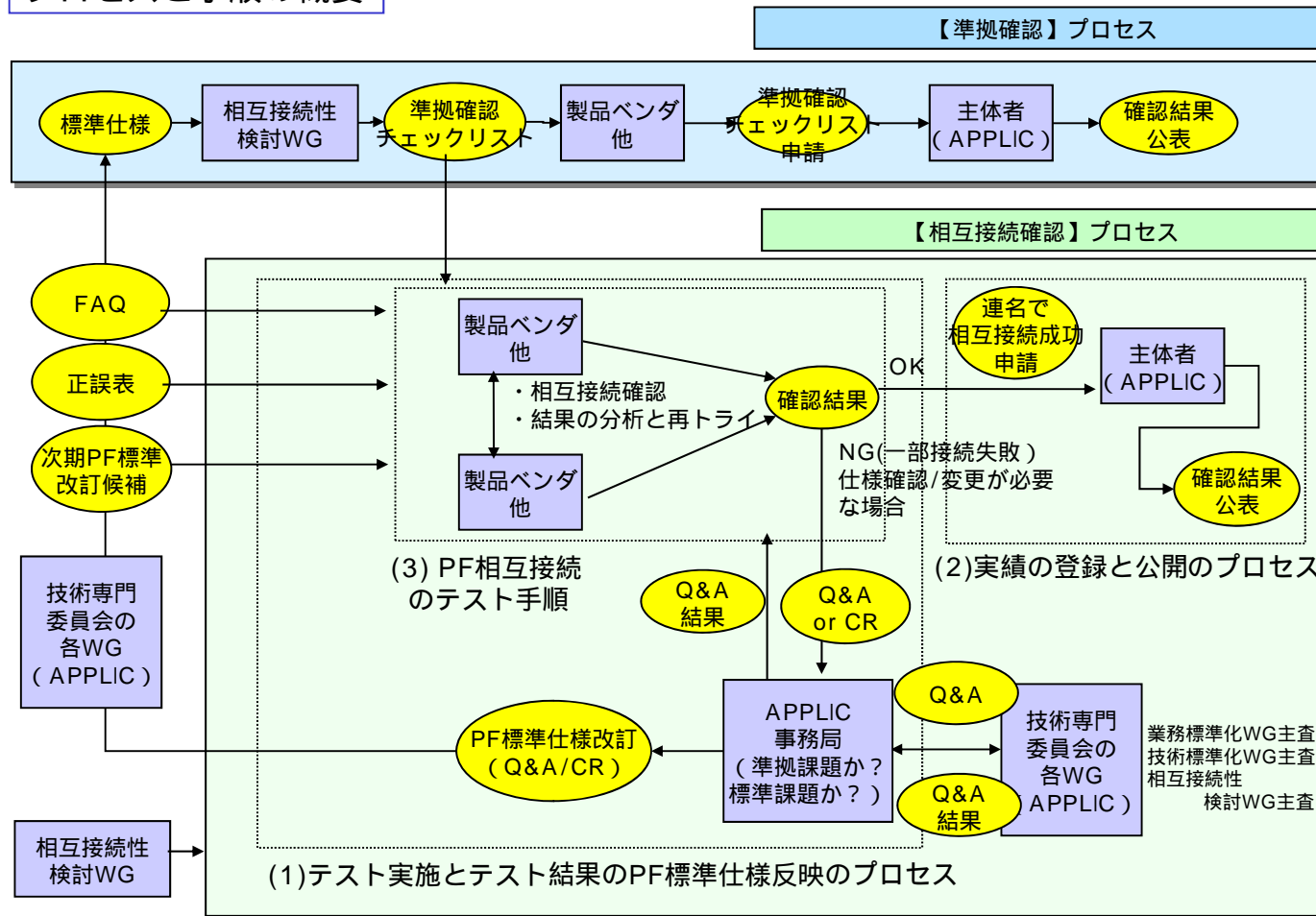
GIS 共通サービス仕様  
【業務標準仕様】 【技術標準仕様】



# 標準仕様の策定

地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続  
 確認仕様 【業務標準仕様】 【技術標準仕様】

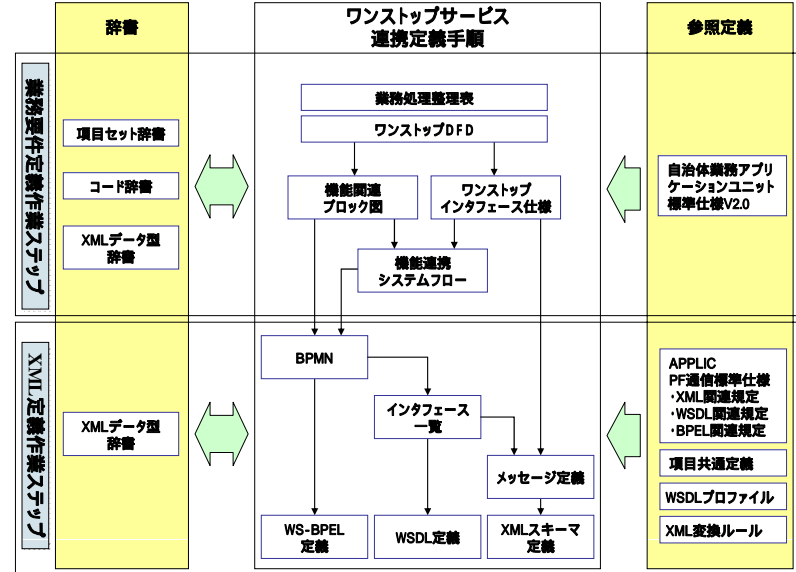
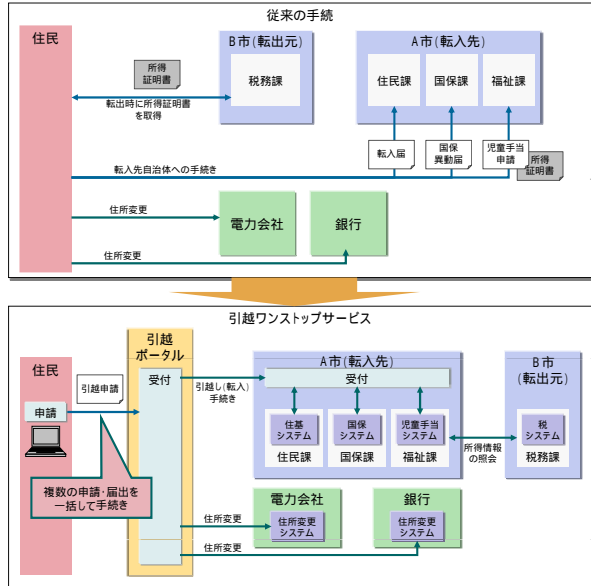
## プロセスと手順の概要



# 標準仕様の策定

## 地域情報プラットフォームガイドライン 【指針】

第1章	本ガイドラインの前提
第2章	調達仕様
第3章	技術解説
第4章	ワンストップサービスの導入
第4章別冊	ワンストップサービスの連携定義手順



## 別冊 GIS共通サービスガイドライン

# (参考) 地域情報プラットフォーム対応製品計画・先進事例

〈平成20年3月10日現在〉

## 対応製品リリース計画

以下の事業者が地域情報プラットフォーム対応製品のリリース計画があると表明されています。

- ・ (株)RKKコンピューターサービス
- ・ NTTデータ(株)
- ・ オープンスタンダード化支援コンソーシアム
- ・ (株)岡山情報処理センター
- ・ ジャパンシステム(株)
- ・ (株)TKC
- ・ (株)電算
- ・ 日本オラクル(株)
- ・ 日本電気(株)
- ・ 日本電子計算(株)
- ・ 日本BEAシステムズ(株)
- ・ (株)BSNアイネット
- ・ (株)日立情報システムズ
- ・ (株)日立製作所
- ・ 富士通(株)
- ・ 富士電機システムズ(株)
- ・ マイクロソフト(株)
- ・ (株)両備システムズ

18社

## SI、コンサルティングサービス対応状況

以下の事業者が地域情報プラットフォーム導入に関するSI、コンサルティング対応可能と表明されています。

- ・ (株)RKKコンピューターサービス
- ・ NTTデータ(株)
- ・ オープンスタンダード化支援コンソーシアム
- ・ 日本オラクル(株)
- ・ 日本電気(株)
- ・ 日本電子計算(株)
- ・ 日本BEAシステムズ(株)
- ・ 日本ヒューレット・パカード(株)
- ・ (株)日立製作所
- ・ 富士通(株)
- ・ マイクロソフト(株)

11社

(注) 上記の情報は各事業者からAPPLICに寄せられた情報に基づくものです。

## 自治体における取組

- ・ 地域情報プラットフォームに係る予算措置を平成20年度に実施する自治体
- ・ 地域情報プラットフォームに係る予算計画(今後3年程度の中期計画)に盛り込む予定の自治体

24団体

64団体

# 地域情報プラットフォーム推進事業の概要(実証実験)

地域情報プラットフォームの普及促進を図るため、モデル地域において実証実験を実施し、課題の抽出、解決策の提示を行う。

平成20年度 予算案 626百万

## 実用化への残された課題

「標準仕様」とその実現に必要な「要素技術」はほぼ確立。  
今後は実用化・普及に向けて、効果の検証と、具体的分野での**運用面の課題の抽出、解決策の提示**が不可欠。特に、地域活性化効果の高い分野( )について、早急に実用化を図るため、実証実験が必要。

( )地域活性化効果の高い分野:  
「移住・交流分野」、「住民生活向上分野」や  
「地場産業活性化分野」など。

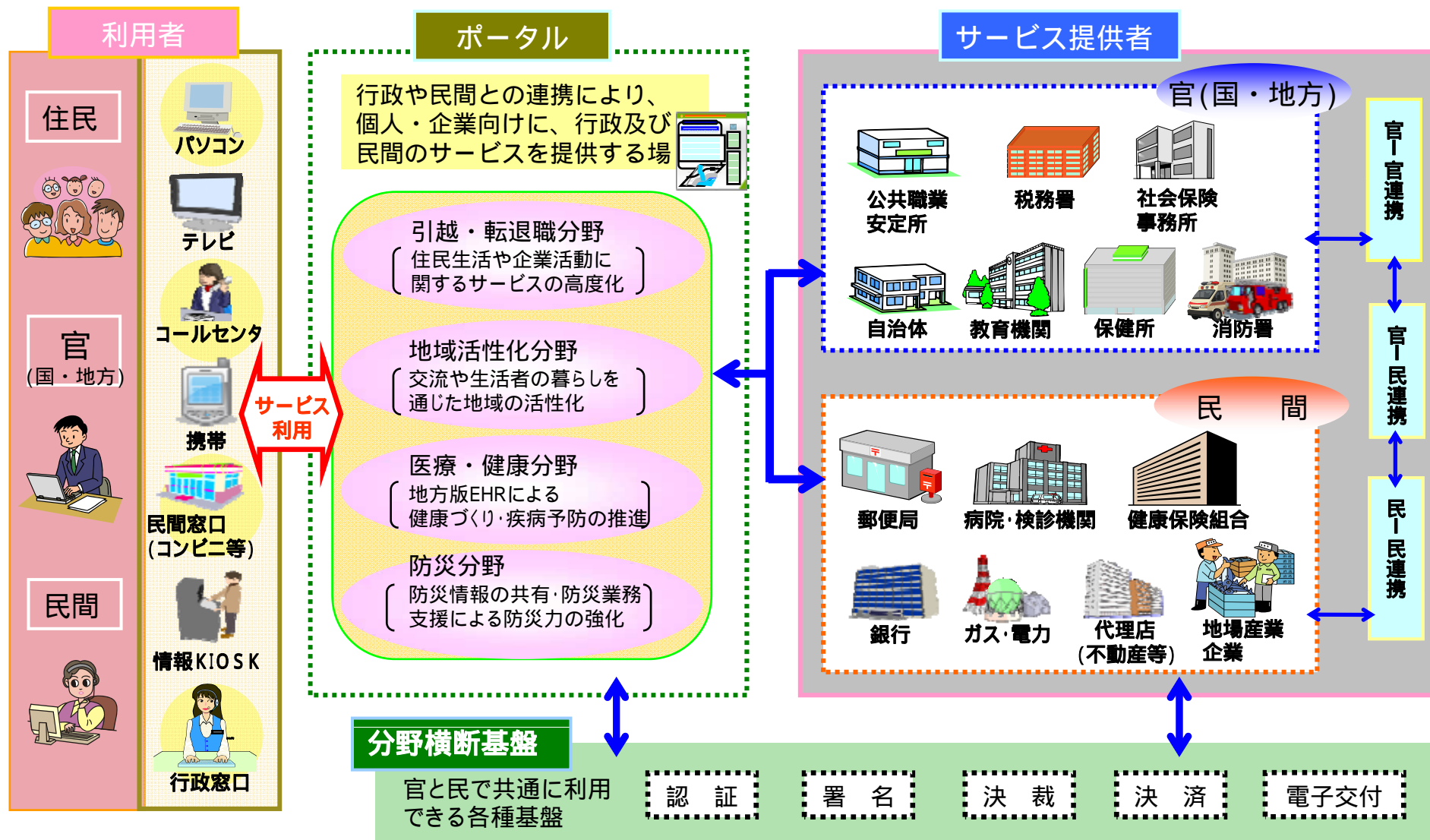
実証実験

成果

● 早期の実用化が期待される移住・交流手続情報分野等の統合システムの実用仕様案の策定

● 関係機関の費用負担、セキュリティ対策、住民等にとっての利便性の測定方法の提言や制度的課題の解決策の提示

# 実証実験のイメージ



「地域情報プラットフォーム」標準仕様に準拠した情報システムを活用した情報サービスの相互接続・連携